

# 第1回

## 日本銀行金沢支店跡地あり方検討懇話会

### — 目 次 —

1. 日本銀行金沢支店の概要
2. 日本銀行金沢支店の立地特性
3. 令和4年度 都心軸活性化検討調査結果の概要
  - (1) 土地利用の現状
  - (2) 事業所数の推移・立地動向
  - (3) 宿泊施設の立地動向
  - (4) コロナ禍以降の人の動き
4. (参考) 日本銀行各支店跡地の主な活用事例について

# 1. 日本銀行金沢支店の概要

## 土地・建物の概要

- ・所在地 金沢市香林坊2-3-28
- ・敷地面積 約4,700㎡
- ・建物 昭和29年（1954年）竣工（設計：山下設計）
  - 構造：鉄骨・鉄筋コンクリート造
  - 屋根形式：陸屋根
  - 階数：地下1階付地上3階建
  - 延床面積：約4,800㎡
- ・用途地域 商業地域
- ・建ぺい率 80%
- ・容積率 600%
- ・高度地区 45m



## 移転に向けた動向

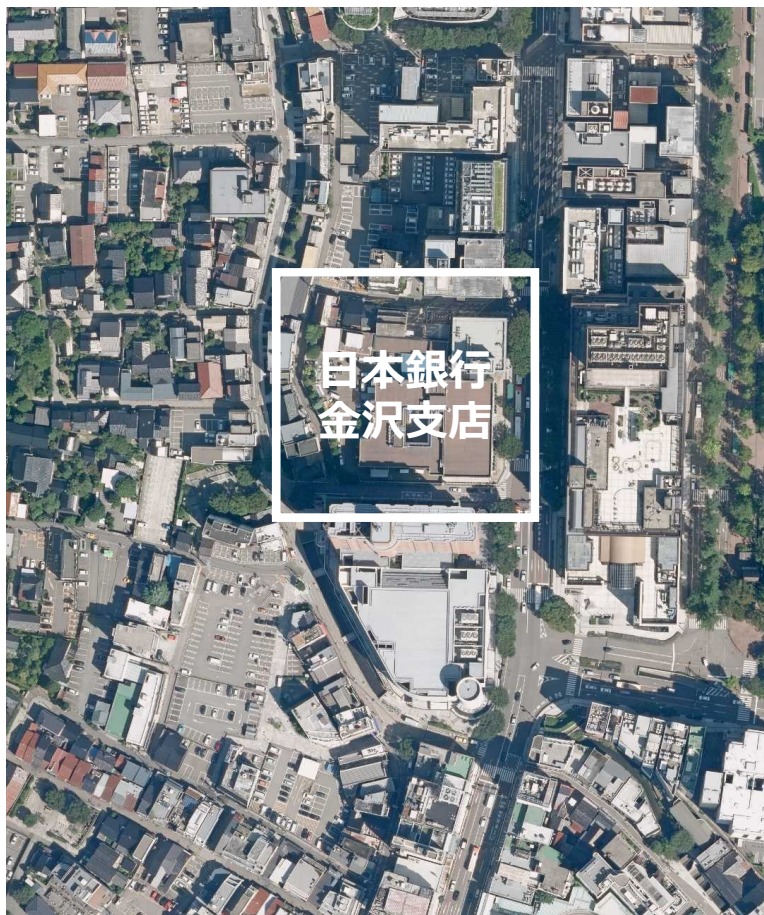
平成30(2018)年5月 : 駅西(広岡3丁目地内)への移転の意向が示される

令和5(2023)年秋頃 : 完成予定(現在建設中)

## 2. 日本銀行金沢支店の立地特性

### 都心軸沿線に立地

- 日本銀行金沢支店は、金沢駅～武蔵が辻～南町～香林坊～片町に至る都心軸の中で、商店街とビジネス街をつなぐ場所に立地している。



都心軸：駅東地区図



## 金沢市都市計画マスタープランでの位置づけ

### 中央地域

#### ■まちづくりのテーマ

伝統環境と近代的都市環境が調和した**美しく品格ある歴史都市金沢の都心**

#### ■まちづくりの方針（抜粋）

- 都市生活の利便性を確保し賑わいを高めていくため、**商業・業務や歴史・文化など多様な機能の集積**に向けた土地利用の誘導を図ります。
- 都心軸沿線では、**賑わいの中にも品格と落ち着きが感じられる**街並み景観を形成します。
- 歩行者ネットワークの連続性の確保、公園・緑地などの整備、誘導サインの設置などにより、**まちなかの回遊性**を創出します。

### 交通の要衝

所在する香林坊は、  
交通の要衝であり、  
多くの人々が行き交う場所



北陸鉄道（株） 金沢近郊バス路線図

### 周辺への文化施設の集積

周辺には、  
多くの芸術文化施設や  
歴史文化遺産が集積





## 立地特性（まとめ）

**県都の中心であり、都心の風格を感じる  
ことができるエリア**

**交通の要衝であり、多くの人々が行き交う  
場所**

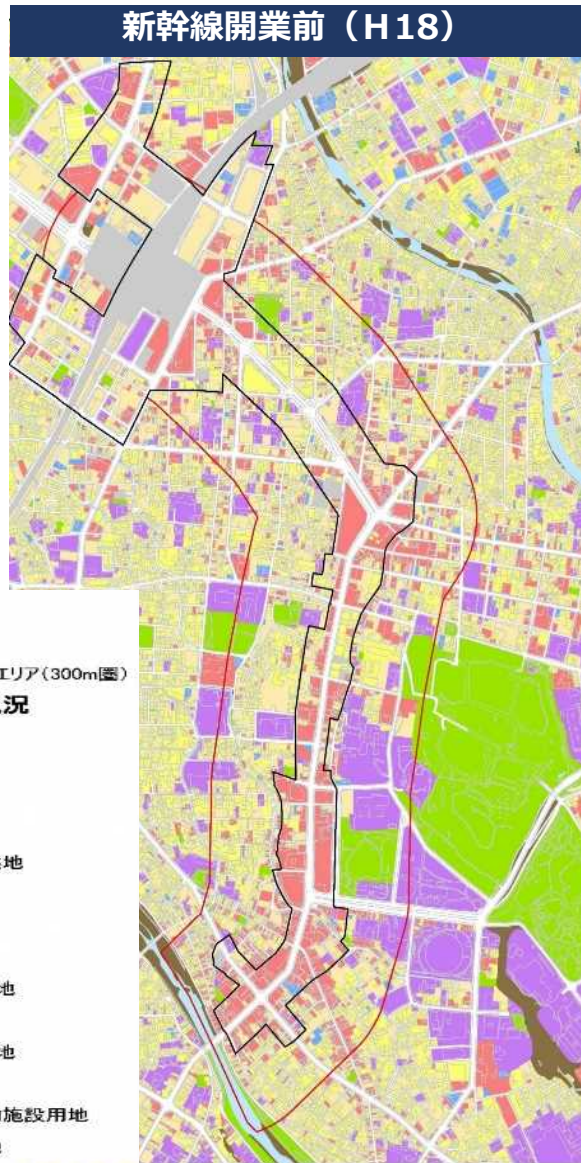
**多くの芸術文化施設や歴史文化遺産が集積  
しており、本市の発展に極めて重要な場所**

### **3. 令和4年度 都心軸活性化検討調査結果の概要**

## (1) 土地利用の現状

## (1) 土地利用の現状

出典：都市計画基礎調査



金沢駅から香林坊、片町に至る都心軸とその周辺エリアは、**新幹線開業前と変わらず、商業用地機能が集積するとともに、まちなか居住との複合的な利用が図られている。**

一方、**都心軸エリアにおいては、公共的な広場・緑地は少ない (1.0%)**

単位：㎡

	都心軸 エリア	都心軸周辺 エリア	市街化区域
公共空地	8,020	94,824	3,409,482
総面積	801,766	1,896,165	86,520,802
公共空地率	1.0%	5.0%	3.9%

**凡例**

- 都心軸エリア
- 都心軸周辺エリア(300m圏)

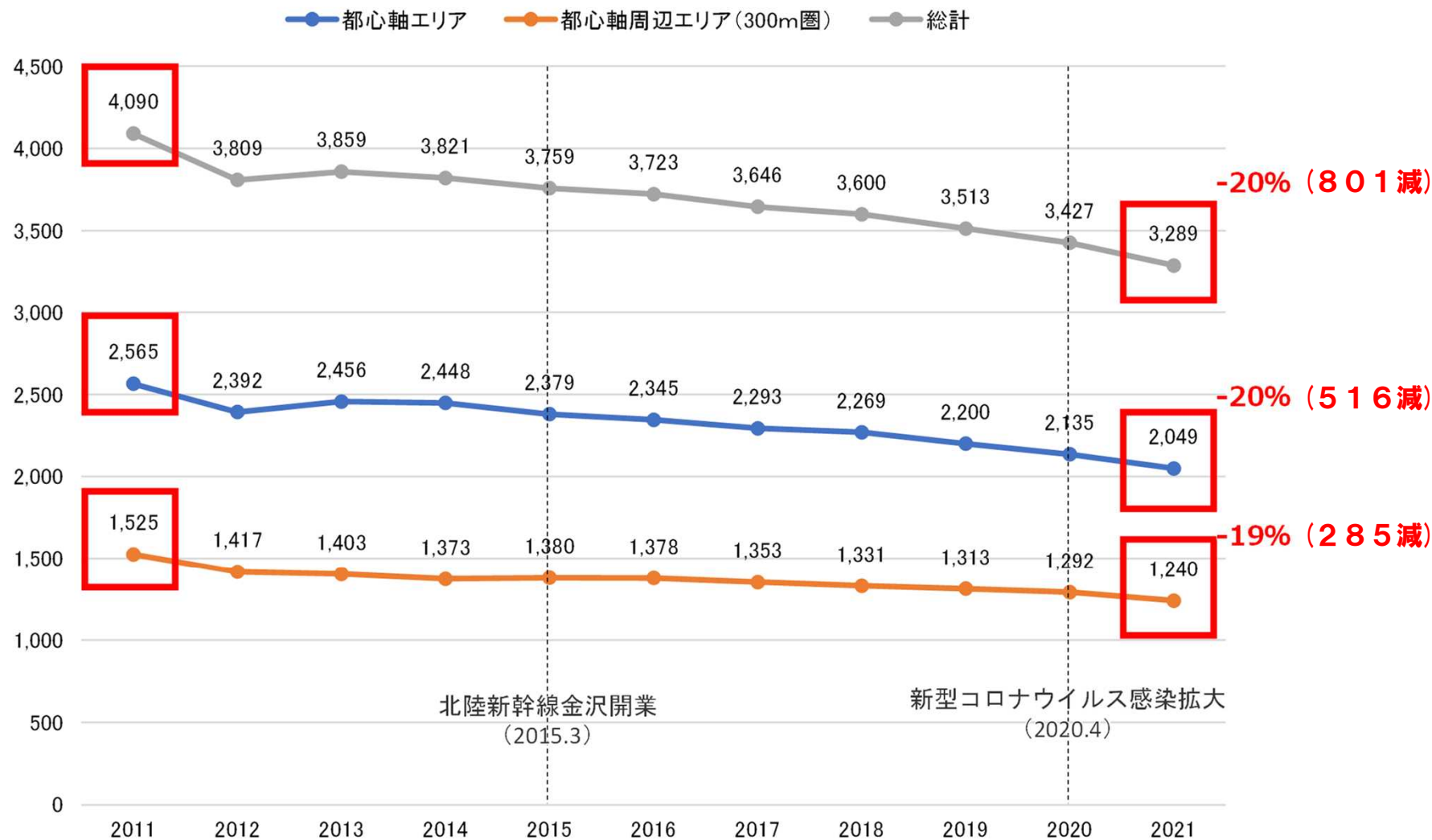
**H17土地利用現況**

- 田
- 畑
- 山林
- 水面
- その他の自然地
- 住宅用地
- 商業用地
- 工業用地
- 公益施設用地
- 道路用地
- 交通施設用地
- 公共空地
- その他の公的施設用地
- その他の空地

## (2) 事業所数の推移・立地動向

## (2) 事業所数の推移

出典：RESASの事業所立地動向データを加工



- 事業所数は、10年前(2011年)と比較し、全体で約2割減少

## (2) 事業所の立地動向






出典：RESASの事業所立地動向データを加工

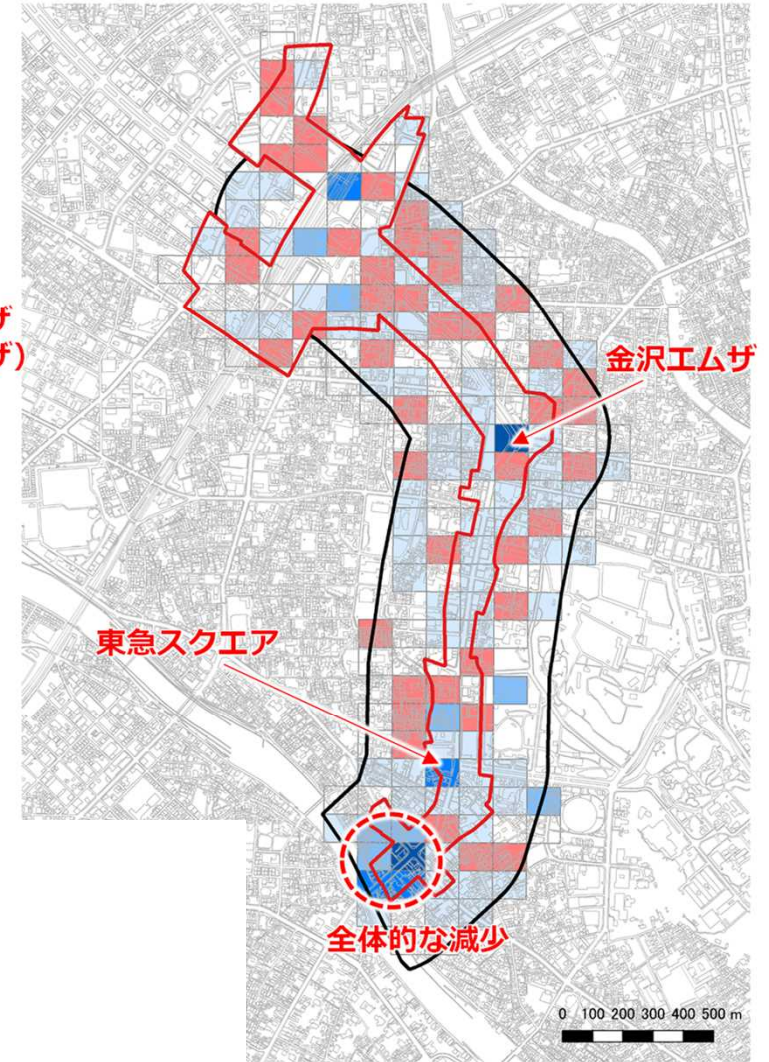
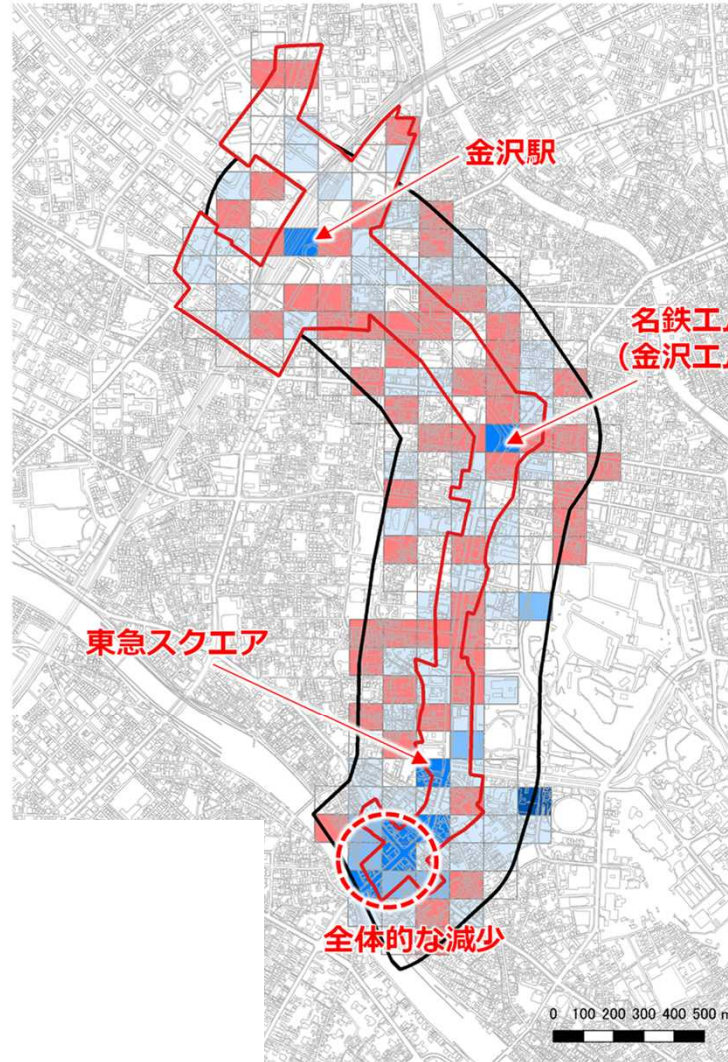
＜事業所数の増減＞

【コロナ禍前（2011年→2016年）】

【コロナ禍前後（2016年→2021年）】

### 凡例

-  都心軸エリア
-  都心軸300m圏
-  50以上減少
-  20～50減少
-  11～20減少
-  1～10減少
-  増減なし
-  1～20増加



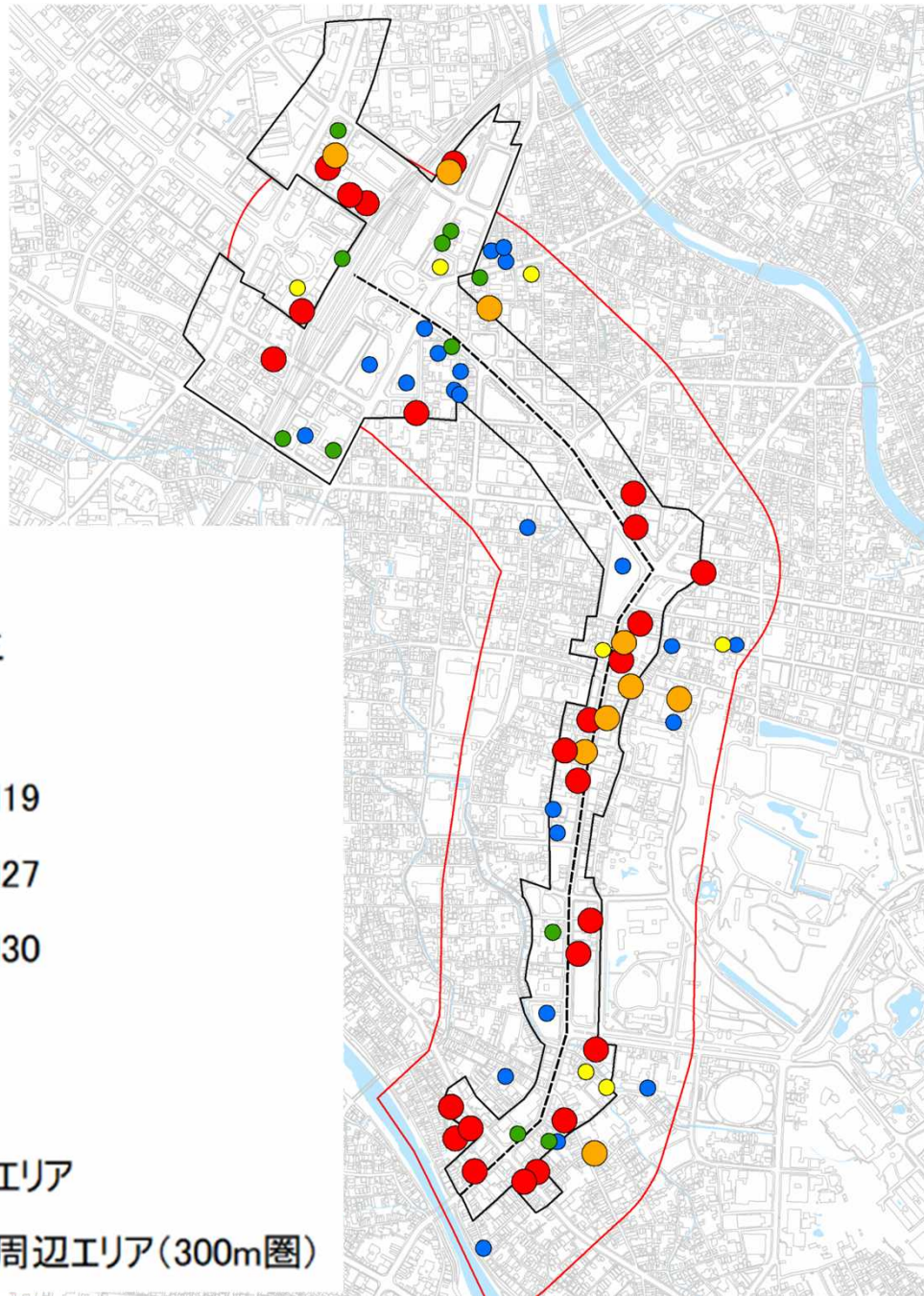
- ・ 金沢駅周辺や金沢エムザ、東急スクエア等の商業施設の事業所数は、大きく減少。片町エリアにおける事業所数の減少が著しい

## (3) 宿泊施設の立地動向



## (3) 宿泊施設の立地動向

出典：旅館業施設一覧（各年1月時点）



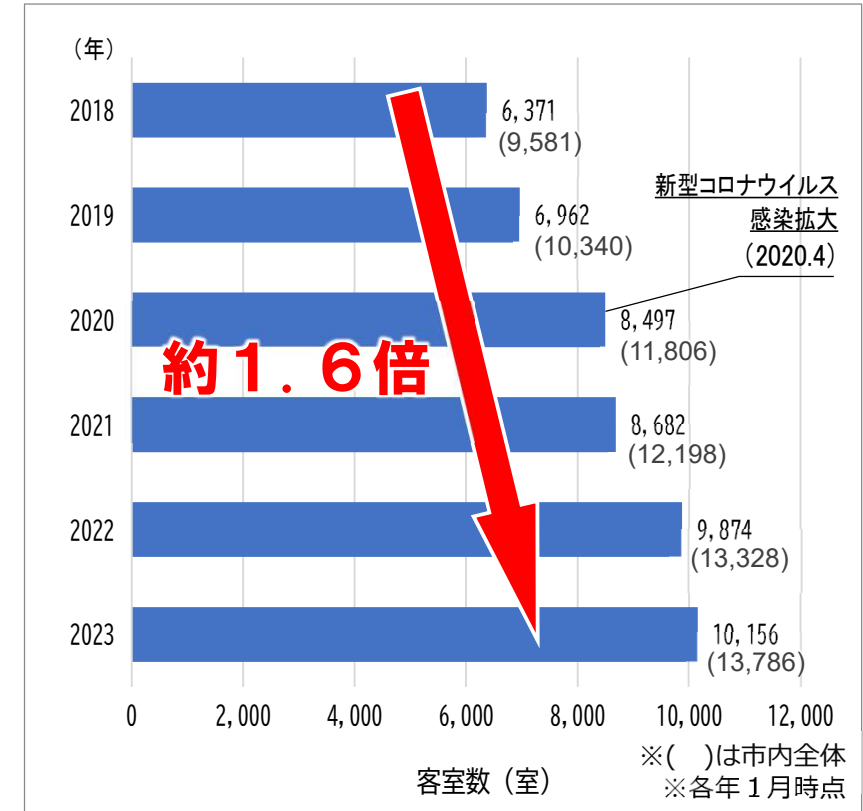
### 凡例

#### 許可・届出年

- ~H9
- H10~H19
- H20~H27
- H28~H30
- R1~

- 都心軸
- 都心軸エリア
- 都心軸周辺エリア(300m圏)

## 都心軸エリア客室数の推移（ホテル・旅館業）



- ・ 近年、金沢駅西口周辺や南町～片町エリアに新規開業
- ・ 客室数は6年間で約1.6倍(市全体では約1.4倍)

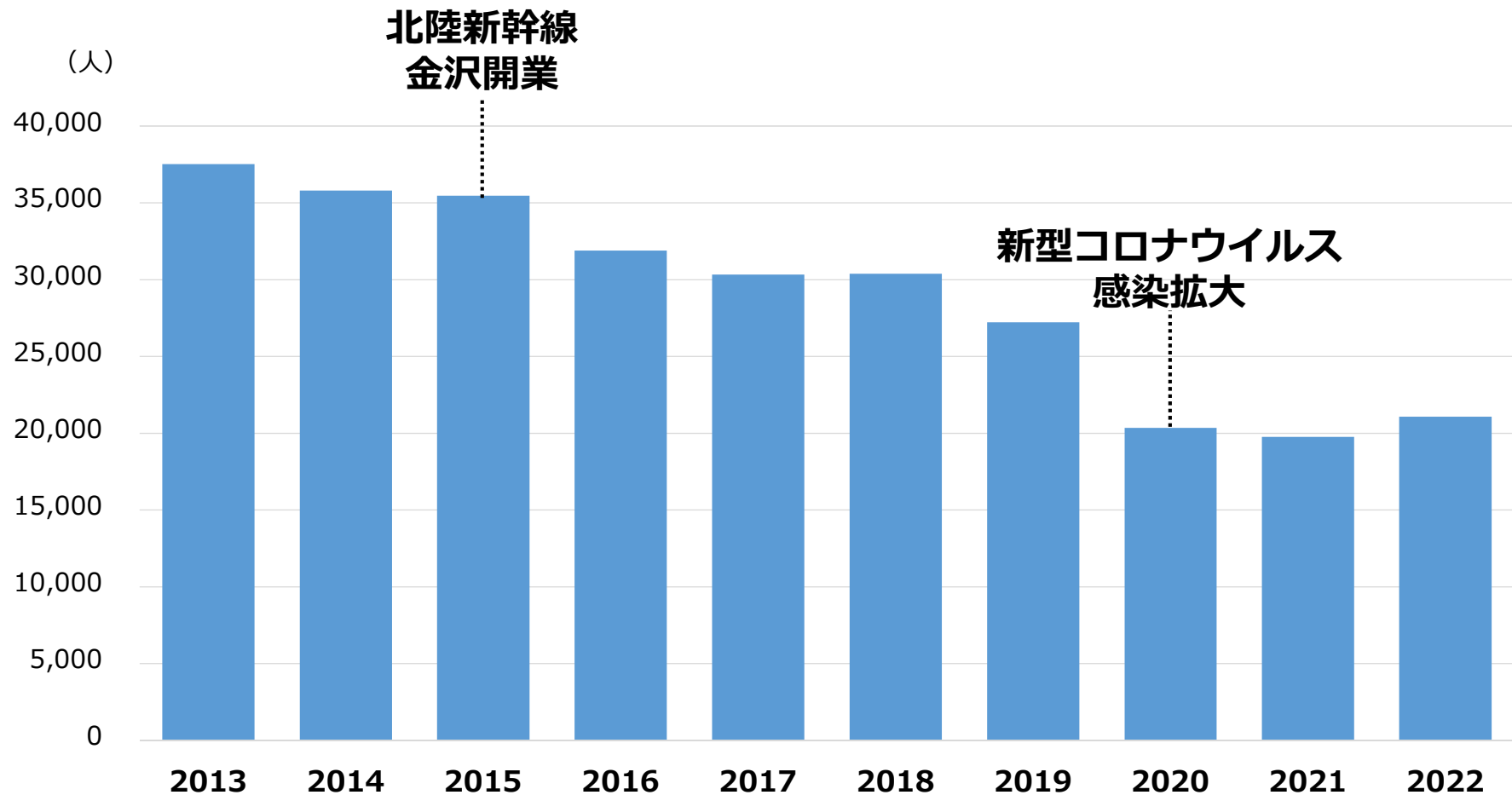
## (4) コロナ禍以降の人の動き

## (4) コロナ禍以降の人の動き

### 平均滞在人口の推移（都心軸全体）

出典：RESASの変動人口メッシュデータを加工

注記：平均滞在人口とは、500mメッシュ内に一定時間以上（1時間程度）滞在している人の数を指す



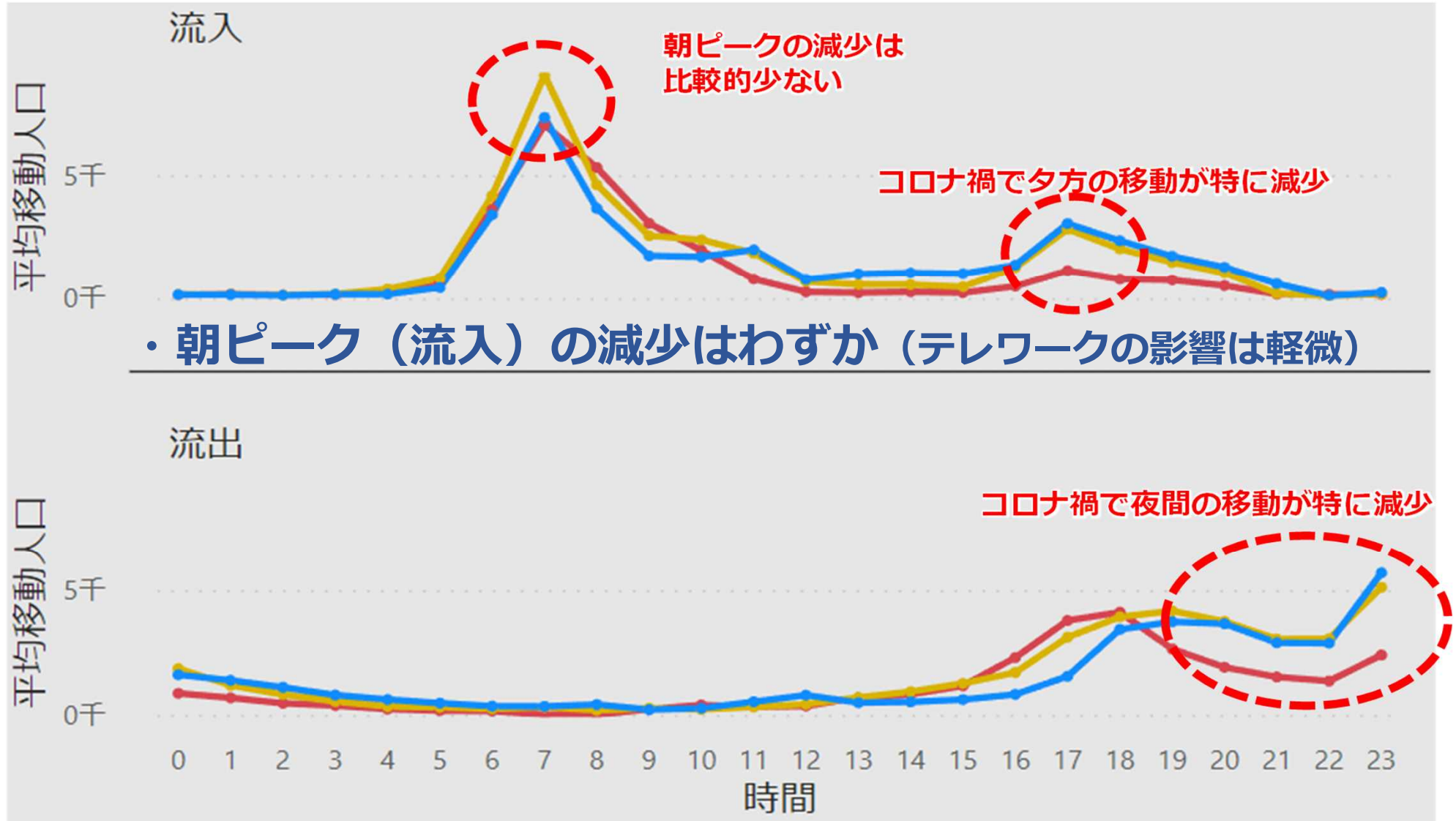
- ・ 滞在人口は、継続的に減少傾向。コロナ禍後は、さらに減少

(4) コロナ禍以降の人の動き

時間帯別移動人口

出典：RESASの変動人口メッシュデータを加工  
 注記：時間帯別移動人口とは、500mメッシュあたりの1時間前と当該時間の滞在人口の差を指す

- 北陸新幹線開業前
- 新幹線開業後～コロナ禍前
- コロナ禍以降



・ 朝ピーク（流入）の減少はわずか（テレワークの影響は軽微）

・ コロナ禍により、夕方の移動(流入)及び夜間の移動(流出)が特に減少

## 議論の視点

**立地特性や取り巻く都心軸の現状・課題等を踏まえて、日本銀行金沢支店跡地に求められる機能はなにか**

## (参考) 日本銀行各支店跡地の主な活用事例 5例

- ..... ① 建物を残し跡地を活用 **2例** (京都、松江)
- ..... ② 建物を取壊し跡地を活用 **2例** (大分、那覇)
- ..... ③ 活用方法を検討中 **1例** (釧路)

## ① 建物を残し跡地を活用

## 旧京都支店 (現在：京都文化博物館別館)

現在の建物は、1906年(117年前)京都支店として竣工。

その後、京都府が改修・復元を行い、1988年(35年前)京都文化博物館別館となり現在に至る。



写真・年表出典：京都博物館HP

- 設計 : 辰野金吾(日本近代建築の父)  
+ 長野宇平治(辰野金吾の弟子)
- 竣工 : 1906年
- 用途 : 博物館
- 規模・構造 : 煉瓦造、建築面積884.4m<sup>2</sup>、二階建、一部地下一階、  
スレート葺、両翼塔屋付、袖塀附属
- 所在地 : 京都府京都市中京区三条通高倉北西角

① 建物を残し跡地を活用

旧京都支店 (現在: 京都文化博物館別館)

現在の建物 (京都文化博物館別館) は、景観整備地区内に位置しており、沿道景観に寄与している。 ※1966年 (57年前) 国の重要文化財指定

出典: 京都博物館HP



京都文化博物館 別館

(界わい景観整備地区内)

GoogleMapストリートビュー



## ① 建物を残し跡地を活用

## 旧松江支店 (現在: 工芸館「カラコロ工房」)

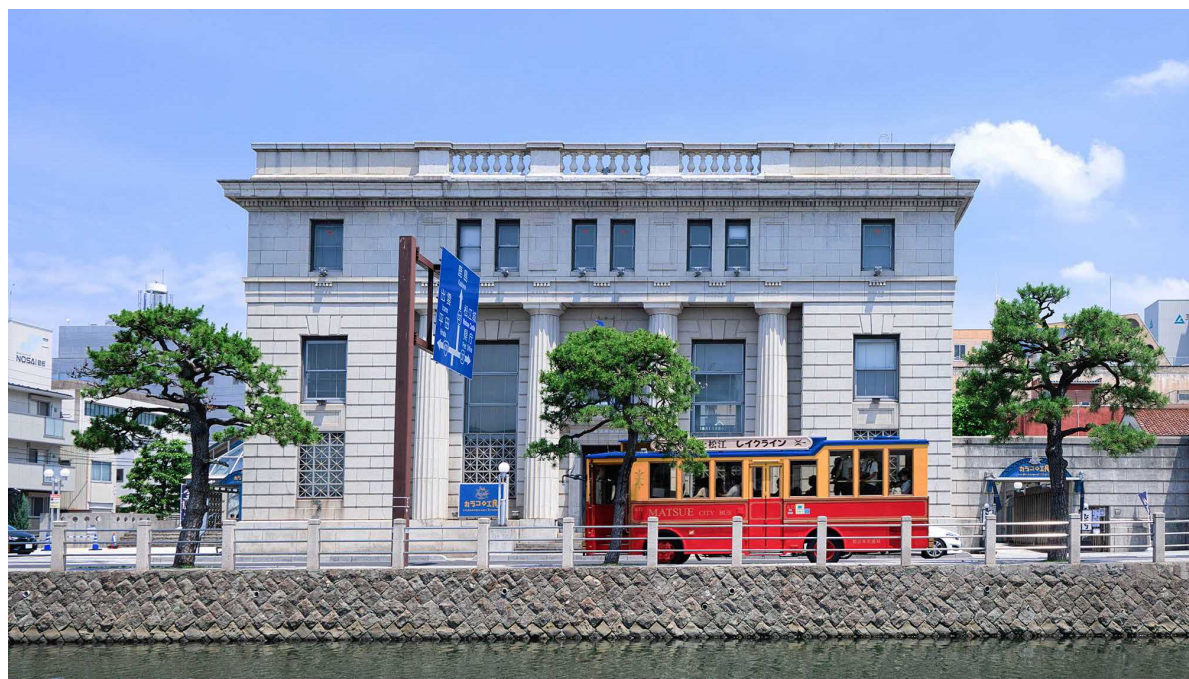
現在の建物は、1938年(85年前)に完成。  
 松江城まで約0.6km、JR松江駅まで約1.2kmに位置している。  
 1996年(27年前)、松江市が施設を取得し、改修され現在に至る。



出典: GoogleMapストリートビュー

設計	: 長野宇平治 (日本近代建築の父・辰野金吾の弟子)
竣工	: 1938年
構造・階数	: 鉄筋コンクリート造3階地下1階建 建築面積633㎡、塔屋、煙突及び塀付
所在地	: 島根県松江市殿町43

出典: カラコロ工房HP、文化遺産オンライン



## 旧松江支店 (現在: 工芸館「カラコロ工房」)

### ① 建物を残し跡地を活用

工芸館は、匠をテーマに、銀・ガラス・陶芸・木工等の体験教室や店舗などが整備され、カフェやレストランも充実しており、市民や観光客から親しまれる施設となっている。

季節ごとのイベントが充実し、例えば梅雨時には広場の空を彩る「アンブレラスカイ」などが実施されている。



出典: しまね観光ナビHP



出典: 出雲テラスHP

## ② 建物を取壊し跡地を活用

## 旧大分支店 (現在: 祝祭の広場)

旧日本銀行大分支店は、1970年(53年前)に移転後、民間企業が跡地を取得し、スーパーマーケットが建設され、2011年(12年前)に閉店。

その後、大分市は、ラグビーワールドカップ開催に向け、2017年(6年前)に跡地を取得し、2019年(4年前)、中心市街地の回遊性や滞留性を高める目的で「祝祭の広場」が整備され、現在に至る。



出典：日本銀行大分支店HP



出典：都市商業研究所HP

旧大分支店 (現在: 祝祭の広場)

② 建物を取壊し跡地を活用



出典: 全国まちなか広場研究所HP

## 旧那覇支店 (現在：民間通信事業者の社屋)

旧那覇支店は、2007年（16年前）に移転後、民間通信事業者が跡地を取得し、2012年（11年前）社屋を建設し、現在に至る。

## ② 建物を取壊し跡地を活用

出典：日本銀行那覇支店HP



出典：沖縄セルラー(株)HP

## 旧釧路支店

### ③活用方法を検討中

旧釧路支店は、1952年（71年前）に竣工し、2013年（10年前）移転。  
2015年（8年前）釧路市は、土地と建物を取得し、現在、活用方法を検討中である。



出典：GoogleMapストリートビュー

## 今後の予定

**7月～** 市民アンケート

**10月** 第2回あり方検討懇話会

**1月** 第3回あり方検討懇話会  
(あり方のとりまとめ)